

# Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

## 東京都江戸川区

M・Yさん

主人が天国に行ってもうすぐ3年半という月日が経ちます。私は現在40歳、娘は4歳。悲しみは癒えることなく、つらい毎日ですが日々をクリアしています。

20歳から30歳まで、バックパックを背負い、世界中を旅しておりました。セカンドカントリーを探するような感覚でウロウロしていましたが、旅先で主人に出会ったことで、自分の居場所を「土地」としてではなく「人」として見つけることができたのでしょう。まさに「着地できた」という感じで、彼の側で安心して生きるようになりました。

スマイルズの「こう見えるミュージアム」の宮田珠己さんの本もパッカー時代に読んでいて、大好きでした。主人にも見せたりもしていたのですが、出会った頃の話なのでずいぶん月日が経っています。

人生の中で見た事、体験した事は、不思議なことに、全部細かく細かくであってもつながっているなあ、と思われることが度々起きるのですが、まさか、こんな形で大好きな作家さんの名前を目にするとは思っていませんでした。いつまでたっても人生は不思議ですね。

## 岡山県倉敷市

T・Mさん

お正月に「箱根駅伝」をテレビで見て、(恥ずかしながら初めて見ました…)感動しました。それぞれの1区間の間にたすきをつなげる感動、ドラマがあり、くぎづけになってしまいました。それからテレビで駅伝があるたびに見るようになりました。選手の皆様は日々努力をし、体調管理にも気をつけ、身心共に鍛えぬいた精神だと思います。どのスポーツを通して、体を動かすことは素晴らしい事だとおもいます。「スマイルトーク」で、駅伝の選手やスポーツ選手のお話を聞いてみたいな、と思いました。

## 山口県岩国市

Y・Mさん

夫が亡くなり12年、我が息子も12歳になり、春から中学生になります。6年生の夏休み明け頃から、塾に行きたいと言い出し、中学受験をし、無事、希望校へ進学する事となりました。

2月に入り、夫の13回忌の法要も済ませ、前向きに頑張っている息子を見習い、気持ちを新たに親子で頑張っていきたいと思います。

## 東京都中央区

K・Mさん

私も含め、色々な悩みを身近に打ち明けられる人や相談する場所が無くて困っている保護者のために、PCでの保護者向けの伝言板など、スピーディーに悩みを皆で考え、アドバイスできるような場があったらと思うのですが、不可能でしょうか？ もしくは同じ立場の方々が作ったホームページなどを紹介するお勧めコーナーがあるといいなあと思います。

色々あって普通には中々理解してもらえない内容の話を、ママ友などとはおしゃべりできないし、お金にまつわる相談というか、行政のひとり親サービスや色々な情報交換の場もほしいと思うので、是非とも考えていただければと思います。又、基金を終了された先輩や大きくなった子供達のその後や、当時の思いなども素直に語れる場になるのではないかと考えられるので。

皆さんの考えやアドバイスが聞きたいのでよろしくお祈りします。



## 神奈川県綾瀬市

M・Yさん、M・Sさん

息子さんより

育成基金の給付は完了したとのことですが、これまでのご支援に対する僕の感謝の気持ちは完了することなく、いつまでも残っていくことだろうと思います。

これからは、この感謝の気持ちと、支えていただいた温かな経験を携えて、自分の足で歩いて行きます。本当にありがとうございました。

お母様より

息子、娘と三人での生活になってしまってから14年の月日はあっという間でした。長男が大学生活を送れているのも育成基金のおかげです。ありがとうございます。

二人には進みたい方向へ歩いて行ってほしいと思います。まだ下の子がお世話になりますが、よろしくお願い致します。

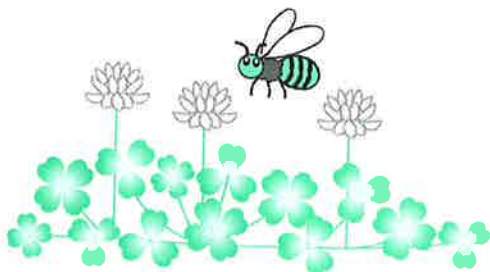
## 埼玉県さいたま市

I・Mさん

この春、長男が高校に進学することになり「橋本給付金」のお知らせをいただきました。お祝い金と図書カードありがとうございました。

長男の小学校入学の前年12月に主人が亡くなり、そのとき3人目を妊娠中だった私は、長男の入学式の時、大きなおなかで出席し喜びというより、これから先のことをどうしても考えてしまい、複雑な気持ちだったことを思い出します。あの時ランドセルを背負っていた長男が義務教育を修了し、高校生になるなんて、当時の私には想像もできないものでした。

両親もすてになく、女手ひとつで3人の子供を育てていくのは大変ですが、基金のおかげで現在があるのだと思っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。末子がまだ小学生ですので、これからもお世話になりますが、よろしくお願い致します。



## 匿名希望さん

橋本給付金ありがとうございました。末っ子が高校受験なので最後の給付金です。年子のうえ、只今ハローワーク通いしている我が家にとって、とても嬉しいの一言です。本当にありがとうございます。

世の中では、交通事故で家族を亡くすと、金持ちと思われ、視線も気になり、とても嫌な思いをしました。それぞれ家庭の状況なんて違うのに…

末っ子にむつさんの話をしてあげたら、私もそんな人になりたいなあーと言っていました。感謝の気持ちでいっぱいです。子供手当より、ずっとずっと魅力的だと思っています。

## 岡山県井原市

M・Tさん

この度、息子が満19歳となり、給付の完了を迎える事となりました。当時、息子は2歳で、先の事はまったく考えられませんでした。この基金を知り、金銭面でも精神面でも、多くの方に支えていただき、どれほどカづけられたかわかりません。今、息子は大学生となり、おおいに大学生活を楽しんでいます。

これからは親子共々、多くの方々に支えられてきた事に感謝し、少しでもお返しができればと思っています。本当に今まで長い間お世話になりありがとうございました。

## 【基金事務局より】

3月11日に発生した、東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。皆様のご無事と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

一方、昨年末からテレビのニュース等で、全国の児童福祉施設に匿名で寄付が行われた、「タイガーマスク運動」が大きく報道されました。当基金にも、「伊達直人(タイガーマスク)」、「デューク東郷(ゴルゴ13)」と名乗る方々からご寄付が届きました。

このご好意に感謝致しますと共に、長年ご支援いただいている全国の寄付者様にも改めて御礼申し上げます。